



2026年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年5月13日

上場会社名 株式会社 アイフィスジャパン
コード番号 7833 URL <https://www.ifis.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 大澤 弘毅
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理グループ ディレクター (氏名) 長島 正光
配当支払開始予定日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-6824-6440

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績(2026年1月1日～2026年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	1,777	0.3	232	6.2	236	5.0	155	5.0
2025年12月期第1四半期	1,773	26.0	247	26.7	248	26.6	164	25.3

(注)包括利益 2026年12月期第1四半期 158百万円 (0.8%) 2025年12月期第1四半期 160百万円 (19.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	16.18	
2025年12月期第1四半期	17.03	

(注)前中間連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年12月期第1四半期に係る各数値及び比較情報については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年12月期第1四半期	7,058	5,863	83.1	608.58
2025年12月期	7,164	5,945	83.0	617.08

(参考)自己資本 2026年12月期第1四半期 5,863百万円 2025年12月期 5,945百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期		10.00		25.00	35.00
2026年12月期					
2026年12月期(予想)		0.00		30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)2025年12月期の第2四半期末配当金10円は、設立30周年記念配当であります。

3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日～2026年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,600	6.3	410	2.1	410	2.2	260	4.7	26.99
通期	7,200	3.5	880	3.3	880	3.0	570	2.5	59.16

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年12月期1Q	10,242,000 株	2025年12月期	10,242,000 株
期末自己株式数	2026年12月期1Q	607,305 株	2025年12月期	607,305 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2026年12月期1Q	9,634,695 株	2025年12月期1Q	9,634,695 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

前中間連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第1四半期連結累計期間との比較・分析にあたっては、暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いております。

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、個人消費や設備投資を中心に、緩やかな回復基調で推移しました。インバウンド需要についても引き続き堅調に推移し、サービス関連分野を中心に景気の下支え要因となりました。

一方で、米国の通商・関税政策を巡る不透明感、中国経済の成長鈍化、欧州における高金利環境の長期化、ならびにウクライナ情勢や中東情勢をはじめとする地政学的リスクの継続等により、世界経済の先行きに対する不確実性は依然として高い状況が続きました。国内においても、円安基調の進行や物価上昇が家計や企業活動に与える影響については、引き続き注視が必要な状況となりました。

このような環境下、当社事業と関連性の高い証券市場においては、米国における金融政策の転換時期を巡る観測や、生成AI関連需要の拡大を背景とした半導体・IT関連分野への期待感を受け、底堅く推移しました。国内株式市場では、期初より高値圏で推移する局面が見られた一方、海外経済動向や地政学的リスクの影響を受けて相場の変動性が高まる場面もありました。こうしたなか、投資家のリスク選好姿勢はおおむね維持され、2026年3月末時点の日経平均株価は51,000円台と、引き続き高水準で推移しました。

また、投資信託市場においては、2024年末に導入された新NISA制度の定着を背景として、個人投資家の中長期的な資産形成ニーズが引き続き底堅く推移しました。積立投資を中心とした継続的な資金流入に加え、制度面での追い風や運用益の積み上げを背景に、公募投資信託市場は引き続き安定した推移となり、純資産総額は高水準を維持し、一部の期間において過去最高水準となる局面も見られました。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は1,777百万円（前年同期比0.3%増）となりました。利益面につきましては、将来成長を見据えた体制強化に伴う人材の採用活動費等が増加したことにより、営業利益は232百万円（前年同期比6.2%減）となりました。また、経常利益は236百万円（前年同期比5.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は155百万円（前年同期比5.0%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりであります。

<投資情報事業>

機関投資家や証券会社向けに展開している各種サービスでは、連結子会社である株式会社キャピタル・アイが提供する資本市場関係者向けリアルタイムニュース『キャピタルアイ・ニュース』が前年に引き続き、堅調に推移しました。また、当社が提供する証券会社向けサービスの新規契約獲得により、前年同期比で増収増益となりました。

その結果、売上高は401百万円（前年同期比8.7%増）、営業利益は174百万円（前年同期比22.0%増）となりました。

<ドキュメントソリューション事業>

生命保険関連の印刷・配送サービスは、大口顧客の発注額減少の影響を受け、売上は伸び悩みました。また、企業年金関連サービスは、売上は堅調だったものの提供サービスの品質向上及び安定運用を目的とした体制強化に伴い保守費用が増加したため、前年同期比で減収減益となりました。

その結果、売上高は457百万円（前年同期比5.7%減）、営業利益は52百万円（前年同期比46.9%減）となりました。

<ファンドディスクロージャー事業>

投資信託関連の編集・印刷・配送サービスは、全体的に印刷部数は減少傾向にあるものの、新ファンド関連の部数増加により業績は前期を上回りました。また、マーケティング支援として顧客のWebサイト構築を受注したことにより、前年同期比で増収増益となりました。

その結果、売上高は392百万円（前年同期比8.2%増）、営業利益は97百万円（前年同期比32.6%増）となりました。

<ITソリューション事業>

事業会社向けの受託開発を行っているビジネスソリューションの受注は、エンタープライズ向けソフトウェア開発が好調に推移し、売上は増加しました。一方で、高利益率案件の減少により、前年同期比で増収減益となりました。

その結果、売上高は212百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益は24百万円（前年同期比11.5%減）となりました。

<ランゲージソリューション事業>

グローバル企業等向けの翻訳・通訳サービスは、顧客のAI活用による翻訳業務の内製化進展に伴う受注の減少により、前年同期比で減収減益となりました。

その結果、売上高は313百万円（前年同期比9.6%減）、営業利益は6百万円（前年同期比57.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ106百万円減少し、7,058百万円となりました。

流動資産合計は82百万円減少し、5,823百万円となりました。主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産が52百万円減少し、現金及び預金が8百万円減少したことによるものであります。

固定資産合計は24百万円減少し、1,235百万円となりました。主な要因は、無形固定資産が29百万円減少した一方で、投資その他の資産が12百万円増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ24百万円減少し、1,194百万円となりました。

流動負債は6百万円減少し、937百万円となりました。主な要因は、買掛金が67百万円増加した一方で、未払法人税等が35百万円減少、その他（未払金）が37百万円減少したことによるものであります。

固定負債は18百万円減少し、257百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ81百万円減少し、5,863百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益155百万円の計上による増加と、株主還元として実施した剰余金の配当240百万円の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月12日公表の2026年12月期通期の連結業績予想に変更はありません。今後、状況の進展や事業動向を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,037,597	5,029,133
受取手形、売掛金及び契約資産	737,501	685,408
その他	130,340	108,561
流動資産合計	5,905,439	5,823,103
固定資産		
有形固定資産	137,927	131,386
無形固定資産		
のれん	216,633	202,495
ソフトウェア	199,010	186,764
ソフトウェア仮勘定	—	8,112
その他	410,969	399,269
無形固定資産合計	826,614	796,642
投資その他の資産		
その他	295,344	307,063
貸倒引当金	△380	—
投資その他の資産合計	294,964	307,063
固定資産合計	1,259,506	1,235,092
資産合計	7,164,946	7,058,196
負債の部		
流動負債		
買掛金	262,214	329,221
未払法人税等	143,539	108,045
賞与引当金	24,439	75,915
その他	513,275	423,883
流動負債合計	943,468	937,066
固定負債		
役員退職慰労引当金	63,900	63,900
退職給付に係る負債	37,657	38,536
その他	174,497	155,187
固定負債合計	276,054	257,623
負債合計	1,219,523	1,194,690
純資産の部		
株主資本		
資本金	382,510	382,510
資本剰余金	438,310	438,310
利益剰余金	5,184,992	5,100,074
自己株式	△92,600	△92,600
株主資本合計	5,913,211	5,828,293
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	353	456
為替換算調整勘定	31,857	34,756
その他の包括利益累計額合計	32,211	35,213
純資産合計	5,945,422	5,863,506
負債純資産合計	7,164,946	7,058,196

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	1,773,038	1,777,749
売上原価	1,011,922	1,013,149
売上総利益	761,115	764,600
販売費及び一般管理費	513,343	532,235
営業利益	247,772	232,364
営業外収益		
受取利息	1,561	3,276
受取配当金	181	181
持分法による投資利益	32	34
その他	225	411
営業外収益合計	2,000	3,903
営業外費用		
支払利息	7	5
為替差損	1,111	103
その他	0	—
営業外費用合計	1,119	109
経常利益	248,653	236,159
特別損失		
関係会社清算損	2,360	—
特別損失合計	2,360	—
税金等調整前四半期純利益	246,293	236,159
法人税、住民税及び事業税	95,592	104,362
法人税等調整額	△13,465	△24,152
法人税等合計	82,127	80,209
四半期純利益	164,166	155,949
親会社株主に帰属する四半期純利益	164,166	155,949

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	164,166	155,949
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△68	102
持分法適用会社に対する持分相当額	△3,910	2,899
その他の包括利益合計	△3,979	3,001
四半期包括利益	160,187	158,951
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	160,187	158,951

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	31,695千円	34,626千円
のれんの償却額	14,138	14,138

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資情報 事業	ドキュメン トソリューション 事業	ファンドデ ィスクロー ジャー事業	ITソリュー ション事業	ランゲージ ソリューション 事業			
売上高								
ドキュメント	—	420,006	345,027	—	—	765,033	—	765,033
Webサービス	337,614	—	—	—	—	337,614	—	337,614
受託開発	32,100	65,473	17,424	47,294	—	162,292	—	162,292
翻訳・通訳	—	—	—	—	248,815	248,815	—	248,815
その他	—	—	—	161,212	98,069	259,281	—	259,281
外部顧客への売上高	369,714	485,480	362,451	208,507	346,884	1,773,038	—	1,773,038
セグメント間の内部 売上高又は振替高	750	9,060	—	18,088	250	28,148	△28,148	—
計	370,464	494,540	362,451	226,595	347,134	1,801,186	△28,148	1,773,038
セグメント利益	142,973	98,362	73,412	27,859	14,906	357,514	△109,741	247,772

(注) 1. セグメント利益の調整額△109,741千円には、セグメント間取引消去△227千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△109,514千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 前中間連結会計期間において企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、セグメント情報については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2026年1月1日 至 2026年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資情報 事業	ドキュメン トソリューション 事業	ファンドデ ィスクロー ジャー事業	ITソリュー ション事業	ランゲージ ソリューション 事業			
売上高								
ドキュメント	—	394,079	386,564	—	—	780,643	—	780,643
Webサービス	366,005	—	—	—	—	366,005	—	366,005
受託開発	35,760	63,860	5,502	24,196	—	129,319	—	129,319
翻訳・通訳	—	—	—	—	217,855	217,855	—	217,855
その他	—	—	—	188,312	95,612	283,925	—	283,925
外部顧客への売上高	401,765	457,939	392,067	212,508	313,467	1,777,749	—	1,777,749
セグメント間の内部 売上高又は振替高	855	15,373	—	50,892	—	67,120	△67,120	—
計	402,620	473,313	392,067	263,400	313,467	1,844,870	△67,120	1,777,749
セグメント利益	174,421	52,191	97,346	24,649	6,313	354,922	△122,557	232,364

(注) 1. セグメント利益の調整額△122,557千円には、セグメント間取引消去1,468千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△124,026千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。